

親子防災キャンプ活動報告書

○×ゲーム / 防災カルタ / 新聞紙スリッパ作り

2019年1月20日(日)『親子防災キャンプ』を開催しました。まず最初は災害に関する○×ゲームをしました。正解発表と共にその理由を説明すると「へえ～、そうなんだ！」という新たな学びを得てもらうことができました。川崎フロンターレのキャラクターが描かれた防災カルタには大人も子どもも大盛り上がり！新聞紙スリッパ作りでは、身近にある物で簡単にスリッパができるということを知ってもらいました。実際にでこぼこの上を歩くことで、足を守ることの重要性を体感してもらうことができました。



昼食づくり

昼食づくりでは“メタルマッチ”という道具を使い、火起こしに挑戦しました。災害により電気やガスが止まってしまった場合にも、何か1つ別の火を起こす技術を身につけておくことは安心に繋がります。

昼食では非常食として有名なアルファ米を食べてみたり、簡単にできるスープやゼリーも作りました。



ロープワークを習得し、簡易タープあげ / ポリ袋を使ったレインコート作り

午後のプログラムには講師として野口透さん(川崎市黒川青少年野外活動センター所長)をお呼びして、2つの体験をしました。『ロープワークを習得し、簡易タープあげ』では3種類のロープワークを覚え、タープ上げに挑戦！日常生活に活かせるロープワークもあり、親子や家族間でお互いに教え合う姿も多く見られました。『ポリ袋を使ったレインコート作り』では、【作り方を教える人】と【教えてもらって作る人】に役割を分けました。こうすることによって、より一層班での協力や覚えようという意識が生まれたように思います。



【担当者より】災害時への意識を親子で高めてもらうことを目的に「様々な体験をし、技術のお土産を持ち帰ってほしい！」という思いで実施しました。積極的に参加して頂けたことで、良い雰囲気を作られたと思っています。【親子】で参加してもらえたことにより家族内に共有体験ができましたので、様々な技術をぜひ自宅や外出先でも楽しみながら実践してもらえたら嬉しいです。 文責:黒田(やいも)